

学校評価シート（自己評価）

松山南

幼稚園

1、園の教育目標

(教育方針)

心身共に健全な幼児の発達のために適切な環境のもと集団生活を通して幼児の自主性を育み豊かな人間性を養うべくこの時期に必要な諸能力の開発を助長し時代の変化に対応できる未来の子どもを育てる幼児教育を推進する。

(教育目標)

丈夫なからだで元気よく、豊かな心でたくましく、みんなと仲良く遊べる子

2、具体的な目標や計画

(重点的に取り組むべき目標や計画)

行事や遊びを通して友だちと助け合いながら物事を進め、自分の思いを言葉や動作で表現し相手の思いにも気づいてあげ行動する。友だちとの関わりを十分に楽しみ意欲的に遊びや生活に取り組むとともに主体的に行動し充実感を味わうことを目標に行事等子どもの姿を想定し学年相互の理解を深め計画していく。

3、評価項目の取組及び達成状況

評価項目	結果(※)	結果の理由
I 保育の計画性	A	<ul style="list-style-type: none"> ・反省や記録を生かし全教員同士が連携しそれぞれの行事や活動を見直し計画をたて、準備から無理のないように進めていく。計画や内容をデータ保存することにより昨年度、本年度、翌年度の計画作成の業務量と質の改善がされた。また、職員会議の中で2週間先の保育内容を各学年同士共有できたことにより園庭や、ホール等の活用も充実することができた。
IV 保護者への対応・守秘義務	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度から1学期の始まりに希望面談1学期末に全員面談、2学期に希望面談、3学期は希望の個別相談と保護者との話し合う機会を増やし園生活の様子を伝えていった。その結果家庭と園生活の子どもの姿の違いを互いに認識し合い、方向性について話し合ったり、園生活の様子を理解して頂くこともでき信頼関係の構築をはかることができた。安心して園に送り出してもらうようになった。 ・些細なことでも耳を傾けて相談や苦情を聞き、保護者の気持ちに寄り添った対応し、報告連絡相談をかかさずおこなっている。 ・子ども同士のトラブルで加害者、被害者が出た場合両者に伝えるようにしている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・指導要録の記入は電子データでの入力になってきているので園内で業務時間内に行うものとし、家には持ち帰らない。また、使用できるパソコンの台数に限りがあるので教師間の中で時間を決めて進めることができた。
V 地域の自然や社会とのかかわり	A	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育でお芋堀りや動物公園に行ったり、箭弓神社の散歩、消防署見学等地域の自然や機関を利用した内容の計画をたて、子どもたちが興味関心の幅を広げていくことができた。 ・教職員は近隣の方に笑顔で積極的に挨拶をしている。園周辺の葉っぱやごみを掃除してきれいになっている。 ・近隣の小学校に年長組が招待され、1年生と歌や手作りゲームに参加し交流を深め、就学への不安が取り除かれ入学を楽しみにするようになった。
VI 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の研修会の参加や幼保小連携の為の研修等があったが保育実践事例の報告からグループ協議や講師の先生からの指導助言を頂いたことにより日々の自分の保育を振り返ることができ、子ども理解につながった。また、主体的に行動し充実感が味わってほしいという願いから保育を工夫しようとする姿がみられた。 ・研修の中でその場で学ぶことが多かったが、課題意識をもったの取り組みが今一歩低い。

4、具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は行事等のお手伝いをアンケート式で募り、夏祭り、運動会、お遊戯会、園外保育の引率等、協力員さんとしてお手伝いして頂いた。夏祭りは保育時間の中で行っているが昨年度に比べゲームの数を増やしスタンプラリー式にまわることができ、子ども達が楽しめる内容になった。協力員さんを設けたことから、教職員の仕

	<p>事の負担も削減しその分保育、の充実を図ることができた。また、保護者が幼稚園に入ることで、園の様子を理解して頂く機会が得られた。誕生日会の参観も、コロナ前に戻り、全園児、該当月に来園してもらったり、参観の回数を増やしたりしたことから子どもたちの園の様子を知っていただく機会になった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育計画や行事の計画は学年間の共通理解はもとより他学年同士も共有することで保育環境の中で子どもたちが伸び伸びと活動することができ、お別れ会では、縦割りの活動で他学年交流が無理なく進められ、関わりが広がった。また、次年度の進級を楽しみにするようになった。
--	---

○結果（※）について

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組が不十分である

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
I 教育課程・指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程は幼稚園における教育期間の全体を見通したものであり、幼稚園の教育目標に向かい入園から終了までの期間においてどのように筋道をたどっていくか明らかにした計画である。幼児のそれぞれの発達に時期にふさわしい生活が展開されるように具体的な指導計画を作成して適切な指導が行われるようにしていく。 ・幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿を念頭に置きながらその時期にふさわしい生活が展開できるよう計画を立てていく。
II 健康と安全への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の取り組みについては食の大切さを伝えていく。また、好き嫌いの多い子が多数いることから無理なく改善していく取り組みを工夫していく。食べ物の色や形など親しみながら食べ物への興味関心もち食事を大切にする態度を育てていく。 ・危険な場所。危険な遊び方、災害時の行動の仕方が分かり、安全に行動できるようにする。
V 保護者への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケートから幼稚園との連携や園からの連絡の部分が他に比べ低かった。特に行事等で教職員から詳しい内容や方法についての伝わり方が不十分な部分があり、連絡が遅く不便をかけてしまったので相互の理解を深め早めの対応ができるようにしていく。また、わかり易い伝え方を工夫していく。

学校評価シート（学校関係者評価）

幼稚園 学校関係者評価委員会

日 時 2025年3月 28日（金）

13時30分～15時（時間）

出席者 評価委員（4）人

評価委員（4）人

1. 自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか

コロナ以前の生活に戻りつつある中で、学年相互の理解を深められるような目標、計画をしっかりと、幅広い項目で設定されており、適切だったと考える。

2. 評価結果の内容は適切であったか

設定した目標・計画・評価項目に従って適切であったと考える。

3. 今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

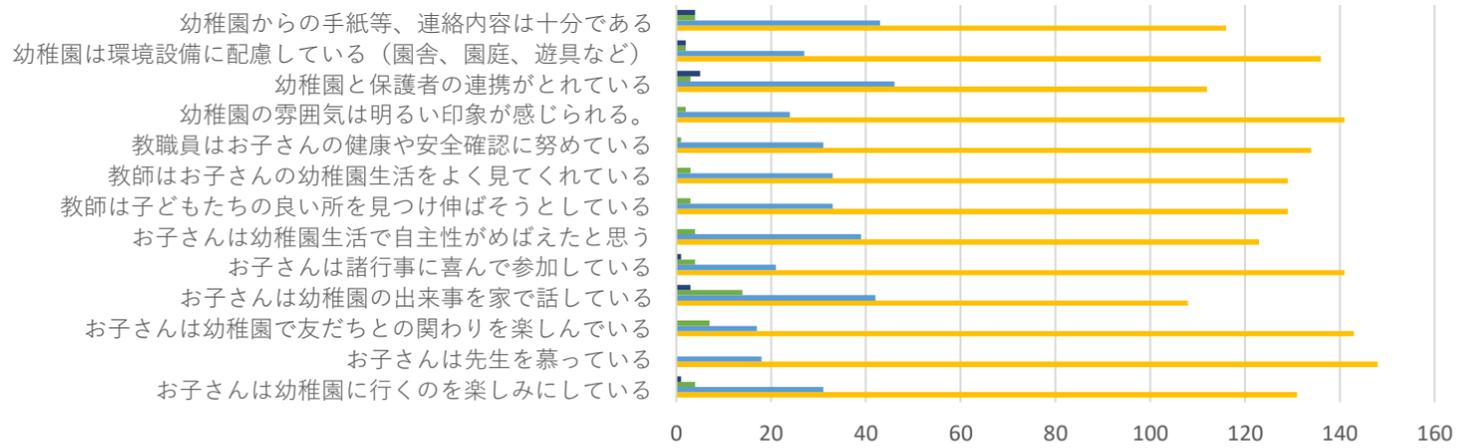
外部と関わりが持てるようになってきた中で、園外保育の機会も増えてきているが、今後、食育に関する取り組み等、工夫をしたり回数を増やして取り組めていけばさらに良いのではないかと思います。

4. 今後取り組むべき課題は適切に行われているか

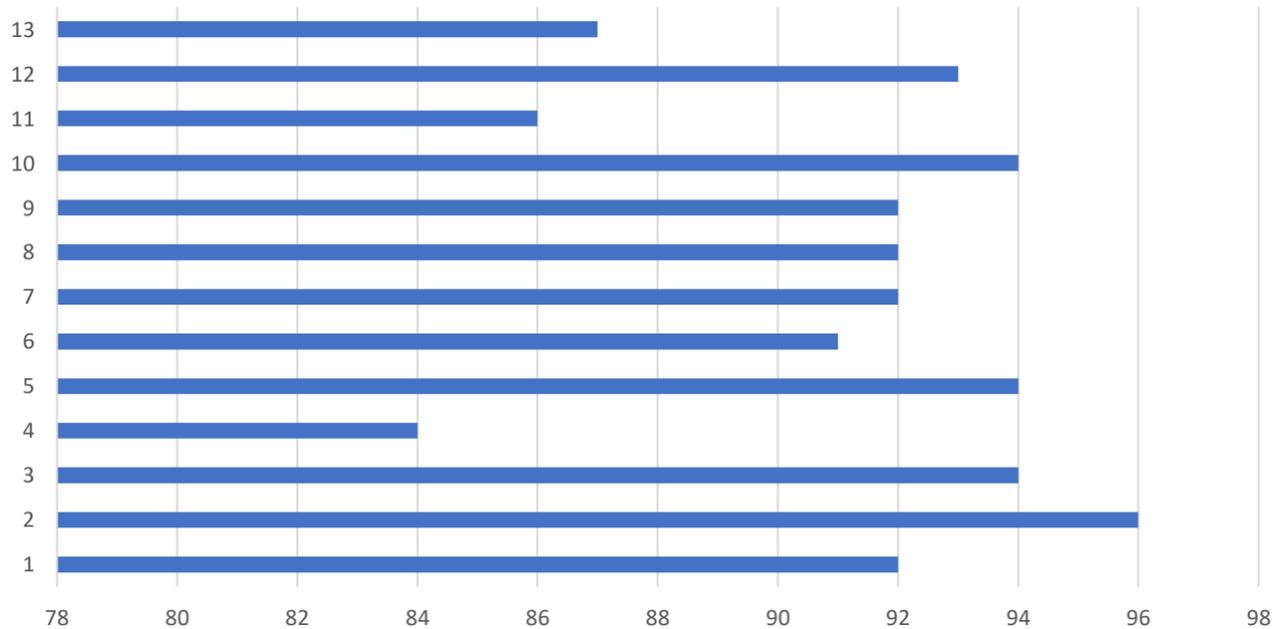
保育者アンケートの幼稚園との連携や園からの連絡の部分は、先生方の負担にならない程度に園での様子を伝えていけると良いのではないかと考える。（日々の連絡や学年末の全員面談等）
園外保育や運動会等の人数制限なし等、外部との関わりも増え、今後取り組むべき課題が適切に行われていくのではないかと考える。

A=あてはまる		B=大体当てはまる		C=あまり当てはまらない		D=あてはまらない		
アンケート内容		A	B	C	D	達成率		
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	131	31	4	1	92		
2	お子さんは先生を慕っている	148	18	0	0	96		
3	お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	143	17	7	0	94		
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	108	42	14	3	84		
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	141	21	4	1	94		
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	123	39	4	0	91		
7	教師は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	129	33	3	0	92		
8	教師はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	129	33	3	0	92		
9	教職員はお子さんの健康や安全確認に努めている	134	31	1	0	92		
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる。	141	24	2	0	94		
11	幼稚園と保護者の連携がとれている	112	46	3	5	86		
12	幼稚園は環境設備に配慮している（園舎、園庭、遊具など）	136	27	2	2	93		
13	幼稚園からの手紙等、連絡内容は十分である	116	43	4	4	87		

保護者アンケート



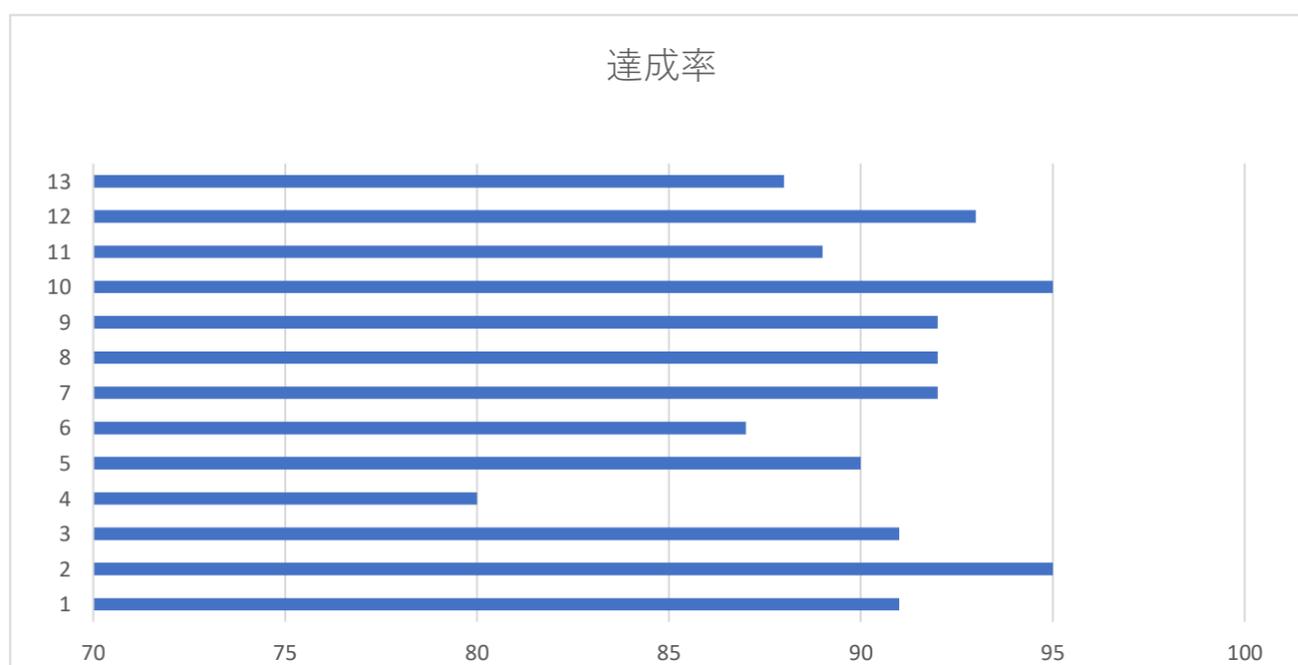
達成率



令和6年度教育に関するアンケート結果（学校評価）

赤・白組

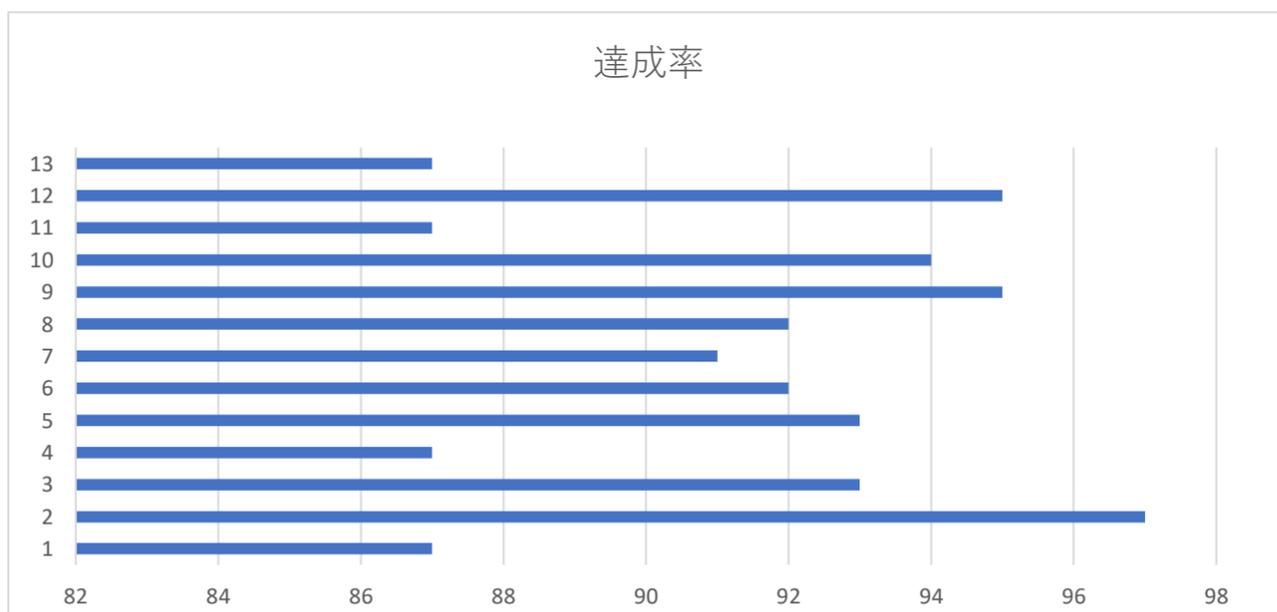
A=あてはまる		B=大体当てはまる		C=あまり当てはまらない		D=あてはまらない		
アンケート内容		A	B	C	D	達成率		
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	43	13	1	0	91		
2	お子さんは先生を慕っている	48	9	0	0	95		
3	お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	47	5	5	0	91		
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	33	16	6	2	80		
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	45	9	3	0	90		
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	37	17	2	0	87		
7	教師は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	44	10	2	0	92		
8	教師はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	44	11	1	0	92		
9	教職員はお子さんの健康や安全確認に努めている	43	14	0	0	92		
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる。	48	9	0	0	95		
11	幼稚園と保護者の連携がとれている	40	15	0	1	89		
12	幼稚園は環境設備に配慮している（園舎、園庭、遊具など）	47	9	1	0	93		
13	幼稚園からの手紙等、連絡内容は十分である	40	15	1	1	88		



令和6年度教育に関するアンケート結果（学校評価）

桃組

A=あてはまる		B=大体当てはまる		C=あまり当てはまらない		D=あてはまらない		
アンケート内容		A	B	C	D	達成率		
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	38	15	2	1	87		
2	お子さんは先生を慕っている	52	3	1	0	97		
3	お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	47	7	2	0	93		
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	39	12	5	0	87		
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	48	6	1	1	93		
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	43	12	1	0	92		
7	教師は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	41	14	0	0	91		
8	教師はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	42	12	1	0	92		
9	教職員はお子さんの健康や安全確認に努めている	46	9	0	0	95		
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる。	46	9	1	0	94		
11	幼稚園と保護者の連携がとれている	37	16	3	0	87		
12	幼稚園は環境設備に配慮している（園舎、園庭、遊具など）	47	9	0	0	95		
13	幼稚園からの手紙等、連絡内容は十分である	39	15	2	0	87		



令和6年度教育に関するアンケート結果（学校評価）

藤組

A=あてはまる B=大体当てはまる C=あまり当てはまらない D=あてはまらない						
アンケート内容		A	B	C	D	達成率
1	お子さんは幼稚園に行くのを楽しみにしている	50	3	1	0	97
2	お子さんは先生を慕っている	48	6	0	0	96
3	お子さんは幼稚園で友だちとの関わりを楽しんでいる	49	5	0	0	97
4	お子さんは幼稚園の出来事を家で話している	36	14	3	1	86
5	お子さんは諸行事に喜んで参加している	48	6	0	0	96
6	お子さんは幼稚園生活で自主性がめばえたと思う	43	10	1	0	93
7	教師は子どもたちの良い所を見つけ伸ばそうとしている	44	9	1	0	93
8	教師はお子さんの幼稚園生活をよく見ている	43	10	1	0	93
9	教職員はお子さんの健康や安全確認に努めている	45	8	1	0	94
10	幼稚園の雰囲気は明るい印象が感じられる。	47	6	1	0	95
11	幼稚園と保護者の連携がとれている	35	15	0	4	83
12	幼稚園は環境設備に配慮している（園舎、園庭、遊具など）	42	9	1	2	89
13	幼稚園からの手紙等、連絡内容は十分である	37	13	1	3	85

